

環境

No.19

発行日：2014.8.1

Environmental Newsletter

ニュースレター

Contents

一般家庭からの二酸化炭素排出量
についてお知らせします 2~3

あきたエコマイスターを紹介します 4
県北協議会総会と座談会

こどもエコクラブ 5

あきた環境優良事業所
認定制度登録事業所の紹介！ 6~7

Information 8

一般家庭からの 二酸化炭素排出量 についてお知らせします

1

調査を始めた経緯

秋田県地球温暖化防止活動推進センター（NPO法人環境あきた県民フォーラム）（以下、秋田県センター）は平成25年（2013年）の業務として秋田県におけるCO₂排出実態の把握を行い、このデータを今後のCO₂削減のための基礎データとして活用していくことを検討し、その方法として、独自に環境家計簿を使用することにしました。これは、環境大臣が実施する「地域での地球温暖化防止活動基盤形成事業」における「地域における地球温暖化防止活動促進業務」として行ったものです。



2

調査への協力者

秋田県地球温暖化防止活動推進員に地域の住民に呼びかけてもらい、協力者を募ることにし、あきたエコマイスター（地域の環境保全活動のリーダーとして秋田県に登録された方々）にも協力いただきました。また、事業に協力していただいた大館市、由利本荘市、横手市、能代市からも地域の方々に声をかけていただきました。

協力者

- (1) 秋田県地球温暖化防止活動推進員、あきたエコマイスター
- (2) 一般住民（秋田県地球温暖化防止活動推進員、あきたエコマイスターによる募集）
- (3) 消費者の会、婦人会他（大館市、由利本荘市、横手市、能代市の協力）

3

調査内容・集計方法

家庭内における、電気、都市ガス、プロパンガス、水道、灯油、ガソリン、可燃ごみについてその使用量を秋田県センターが用意したハガキで報告してもらいました。可燃ごみについては、前述の事業説明会、研修会を開催した際に「計量が大変だ」という意見が多くありました。今回の事業ではできるだけ多くの方の協力を得るため、協力できる範囲で使用量の報告を依頼しました。

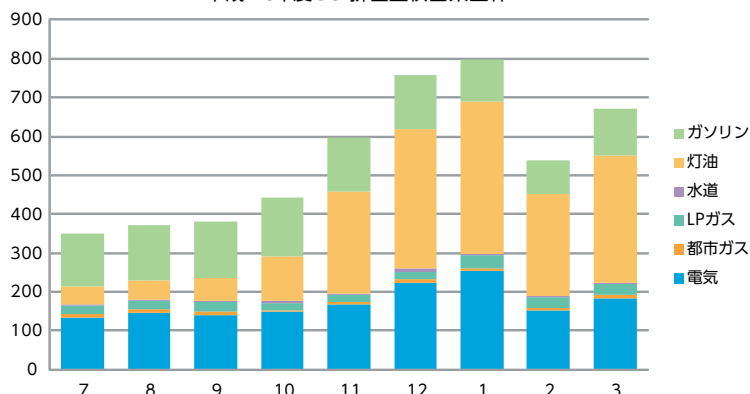
調理・給湯に使用するエネルギーについては、プロパンガス、都市ガス、その他に使用しているものについての調査を行いました。

県内を北部沿岸、北部内陸、南部沿岸、南部内陸の4ブロックに分けてデータの集計を行いました。ブロック分けは次のとおりとしました。

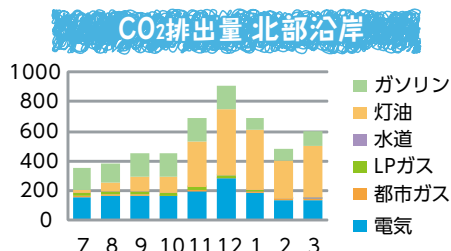
地 域	市 町 村
北部沿岸	能代市、三種町、八峰町、藤里町、男鹿市、潟上市、井川町、八郎潟町、五城目町、大潟村
北部内陸	鹿角市、小坂町、大館市、北秋田市、上小阿仁村
南部沿岸	秋田市、由利本荘市、にかほ市
南部内陸	大仙市、仙北市、美郷町、横手市、湯沢市、羽後町、東成瀬村

秋田県の家からの二酸化炭素排出量（世帯当たり、燃料種別）（2013年度）

平成 25年度CO₂排出量秋田県全体

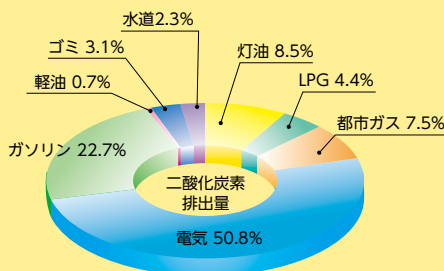


秋田の地域別家庭からの二酸化炭素排出量（世帯当たり、燃料種別）（2013年度）



家庭からの二酸化炭素排出量（世帯当たり、燃料種別）（2012年度）

燃料種	排出量*	割合
石炭等	0	0.0%
灯油	449	8.5%
LPG	231	4.4%
都市ガス	397	7.5%
電気	2,679	50.8%
熱	1	0.0%
ガソリン	1,198	22.7%
軽油	35	0.7%
ゴミ	166	3.1%
水道	119	2.3%
合計	5,274	100%



出典) 温室効果ガスインベントリオフィス

「日本の1990-2012年度の温室効果ガス排出量データ」(2014.4.15発表)

*排出量の単位は「キログラム-二酸化炭素(CO₂)換算」

*家庭からのCO₂排出量は、インベントリの家庭部門、運輸(旅客)部門の自家用乗用車(家計寄与分)、廃棄物(一般廃棄物)処理からの排出量、および水道からの排出量を足し合わせたものである。

*一般廃棄物は非バイオマス起源(プラスチック等)の焼却によるCO₂及び棄物処理施設で使用するエネルギー起源CO₂のうち、生活系ごみ由来分を推計したものである。

*四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

(1か月あたり ≒ 440KgCO₂/世帯)

まとめ

当初、夏季(7月～9月)の冷房が最も使われる期間が排出量も多いものと思われましたが、秋田県では、冬季間(11月～3月)に灯油の使用量が増え、電気の使用量も含め排出量が多い期間となっていることがわかった。冬期間の二酸化炭素排出量を少なくしていく方法として、カーボンオフセットの基幹となる秋田県内の約70%を占めている森林の力を再度見直し、利用することも秋田県の二酸化炭素排出量を抑える方法の1つと思います。

あきたエコマイスターを紹介します



あきたエコマイスターとは？

あきたエコマイスターは、環境問題全般の知識を習得し、環境保全を全体的な視点から考えることができる地域の環境保全活動のリーダーとして県に登録された方々です。平成26年4月1日現在、316名が登録されています。

あきたエコマイスターの協議会は、県北協議会、県央協議会、県南協議会と秋田県内に3協議会がありますが、今回は県北協議会の総会と座談会を紹介します。

県北協議会総会と座談会



平成26年5月25日（日）に北秋田市交流センターにおいて、エコマイスター県北協議会（以下、「エコマイスター」、「協議会」）総会が開催されました。参加者は14名でした。総会終了後には、環境家計簿に関する講演が開催されました。例年の総会は、総会、講演で終了となりますが、今回は最後に座談会を設け、協議会の今後進め方についての意見交換を行いました。

県北協議会では、平成24年度、大館市を会場に環境あきた県民塾が開催され、昨年、平成25年度は会員数が増えましたが、各事業への参加者が少ないことが課題となっていました。そのため、今回、総会終了後に出席者間での今後の活動についての意見交換の場を設けることとなりました。新しい会員からは、活動の取組について提案がなされましたが、既会員からは、「その取

組みをこれまででも行ってきたが、その結果はあまり思わしくなく、現状の样になっている。」との話でした。協議会の活動をどのように活性化して行くのかが今後の課題となっています。

講演会は、環境あきた県民フォーラムが平成25年度に環境家計簿に関する事業を行ったこともあり、環境家計簿に関する講演を当フォーラム主任石塚が環境家計簿がなぜ必要なのかを地球温暖化の現状を紹介しながら、昨年度実施した「みんなでつづけよう！環境家計簿2013」の結果や、報告書に掲載できなかった部分について説明を行いました。また、昨年から今年にかけ気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の5次報告が公表されていることもあり、第1作業部会（科学的根拠）についても紹介しました。



こどもエコクラブ

団体名

横手チアーズクラブ（横手市）
御所野チアーズエコクラブ（秋田市）

チアーズクラブ今年のテーマは、『太陽と自然』

昨年は「資源」、来年は「植物」、来年以降は「動物」、「ゴミ」、「リサイクル」、そして「資源」へと戻ります。毎年テーマが変わりますが、それぞれのテーマが関連しています。

横手イオンチアーズクラブでは、新しい男の子を迎え、5人の参加があり、スタートの7月はテーマ『太陽と自然』の「太陽をまなぼう!」でした。太陽についての座学でしたが、もし太陽が無くなったら?、皆で想像を膨らませ、いろんな意見が飛び出しました。

太陽のエネルギーはもっともっと使えるね。という話から、今使っているエネルギーを大切にしないといけないね。という話まで、いろんな話が飛び交った勉強会となりました。



横手チアーズクラブ（横手市）

イオン御所野チアーズクラブは、最初に体験学習の注意点を話し、外に出て「ソーラークッカー」を使って、太陽の熱利用の学習を行いました。ソーラークッカーでお湯を沸かし沸騰するまでの時間を計り、約30分で沸騰したのをみて、想像より早く沸騰するのに驚いていました。次にポップコーン作りに挑戦!出来上がったポップコーンを食べながら、太陽のエネルギーの一つである熱エネルギーを中心に学び、光エネルギー、太陽の恵みについての勉強会でした。



御所野チアーズエコクラブ（秋田市）

団体名

北陽小学校（男鹿市）
出戸小学校（秋田市）

平成26年6月23日（月）、男鹿市立北陽小学校、7月18日（金）、潟上市立出戸小学校で「環境学習会」が行われました。この学習会は、不法投棄の未然防止のため、将来に向けた啓発活動として、ゴミの分別やリサイクルについて小学生に学んでもらい、児童本人のみならず家庭や地域における「ごみの適正な取扱い」の意識向上を図ることを目的に行われました。参加したのは、男鹿市立北陽小学校4年生9名、潟上市立出戸小学校43名で、講師として秋田県秋田地域振興局福祉環境部環境指導課の高橋課長、佐藤班長、平柳技師、環境あきた県民フォーラムから石塚、佐藤、金が参加しました。日本人1人の割りばし使用量が1年間で200膳の話などを真剣に聞いてくれた学習会でした。



北陽小学校（男鹿市）



出戸小学校（秋田市）

あきた環境優良事業所 認定制度登録事業所の紹介!

事業所のコスト削減への第一歩。それが環境に対する取り組みです。
今まで気にしていなかった活動を、あんなことやこんなことまで変えていく。
それを積み重ねていくことが経費削減につながります。
これは、地球温暖化防止にも貢献します。
これらの取り組みは、「どのくらいエネルギーを使っているか」「どのくらいゴミを出しているか」
を把握することが大切です。
『あきた環境優良事業所認定制度』は、これらをサポートする制度です。

step1 東電化工業株式会社

〒019-2401 大仙市協和船岡字善知鳥14-1
<http://azumadenka.co.jp/>

昭和57年に東京のめっき会社5社が秋田県の誘致で仙北郡協和町に東北東協業組合を共同で設立した、プリント基板・電子部品への表面処理（めっき）事業所です。平成11年に現在の社名に変更し、電解Auめっき、無電解Auめっき等、難素材へのめっきにも挑戦し、研究開発に力を入れるとともに、お客様のニーズに合わせた提案型営業・技術を強化しています。

平成9年にISO9001を、平成17年には、ISO14001の認証を取得し、自然豊かな立地条件のもと、環境への配慮にも努力しております。

あきた優良事業所には、平成25年12月に初めて認定されました。



step1 株式会社 アースクリーンあきた

〒018-0435 にかほ市中三地字中山28番地の7
<http://www.earth-akita.jp/>

平成2年に創業した廃棄物処理事業者で、にかほ市の一般廃棄物の処理業、及び秋田県の産業廃棄物の処理業の許可を取得しております。
処理方法は、焼却による廃棄物の減量・安定化・無害化・並びに破砕によるコンクリート・木屑のリサイクル化です。

環境を整備・創造する会社として、地域に貢献できるように、会社を挙げて日々努力をしております。

あきた優良事業所には、平成25年12月に初めて認定されました。

step1 秋田県電気管理技術者協同組合

〒010-0946 秋田市川尻総社町10-8

平成5年に組合員26人で組合を設立、ビル・店舗・工場施設等の電設設備の保安と管理を行う組合事業所で、設立当初から冷暖房の適切な温度管理、昼休みや休憩時の消灯など、省エネに取り組むとともに、両面印刷・両面コピーを推奨し、紙の使用量を減らす努力をしております。

平成17年12月に優良事業所に認定されており、20年12月に引き続き、今回が2回目の更新です。

step1

株式会社 佐々木栄商店

〒018-0435 にかほ市金浦字項田23-1

http://www.takaryo.co.jp/sasakisakae_n.html

鉄、非鉄金属（銅、真鍮、アルミ、ステン）、製紙原料、（段ボール、新聞、雑誌、）をリサイクルして適正な処理をする会社として、昭和35年に創業しました。設立当初から冷暖房の適切な温度管理、昼休みや休憩時の消灯など、環境負荷の低減に努力するとともに、限りある資源を有効に活用するため環境問題への取り組みも積極的に行っております。

平成19年2月に優良事業所に認定されており、22年2月に引き続き、今回が2回目の更新です。



step1

太平山観光開発株式会社

〒010-0824 秋田市仁別マンタラメ213番地

<http://www.theboon.net/information/>

太平山地域一帯の観光開発を目的とし、株式会社として昭和43年8月に発足、以降クアドーム、ザ・ブーン、スキー場オーパスなどのオープンに伴い、秋田市から業務の受託を受けております。

平成18年度からは指定管理者として、太平山リゾート公園並びに各施設の維持管理、管理運営を行っております。

省エネ施設の導入、熱気基の運転見直し、照明点灯時間の変更など、地球温暖化防止に積極的に取り組んでいます。

平成22年2月に優良事業所に認定されており、今回が1回目の更新です。



step1

株式会社 湯沢クリーンセンター

廃プラスチックリサイクル事業所

〒019-0205 湯沢市小野字上川原13-1

<http://www.yuclean.jp/jigyo.html>

廃プラスチックリサイクルを中心とする従業員43人の一般廃棄物・産業廃棄物中間処理を行う会社で、平成 年の設立当初から環境にやさしい工程・資材を採用して環境対策に取り組んできました。

日常業務においても節水や、休憩の機械の停止など、省エネルギーに努めるとも地域や工場の周りの環境美化にも積極的に取り組んでおります。

また、ISO9001及びISO14001を取得するなど品質マネジメントシステムの認証も取得しております。

平成22年2月に優良事業所に認定されており、今回が1回目の更新です。





低炭素杯2015

低炭素杯2015開催決定!

日程 2015年2月13日(金)、14日(土)

会場 東京ビッグサイト 国際会議場ほか
(東京都江東区有明3-11-1)

出場団体エントリー募集中 8/11から開始!

- 2014 秋田県立秋田工業高等学校 メカクラブ同好会レーシング班
最優秀ソーシャルイノベーション賞受賞
- 2013 和賀製菓店 最優秀コミュニケーション賞受賞

地球温暖化防止活動 環境大臣賞の募集

締切間近! 平成26年8月25日(月)
自薦、他薦は問いません。

募集部門

1. 技術開発・製品化部門
2. 対策技術先進導入部門
3. 対策活動実践・普及部門
4. 環境教育活動部門
5. 国際貢献部門

応募に当たっては、
環境省ウェブサイト
(www.env.jp)
を確認ください。

お問合せ先

平成26年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰事務局
(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)
〒101-0005 東京都千代田区神田錦町1-12-3 第一アマイビル4F
TEL 03-6273-7785 FAX 03-5280-8100
E-mail: daijin-hyosyo@jccca.org

東北地方 ESDプログラム チャレンジプロジェクト2014

応募締め切りは、

2014年9月30日(※当日消印有効)です。

東北6県の学校、保育所や幼稚園、企業、団体などの皆さんに、ESD※の視点を取り入れた活動を実践していただき、東日本大震災を経験された東北発の取組として全国へ発信することを目的としています。

ESDとは? 持続可能な開発のための教育 (Education for Sustainable development) の略です。
一人ひとりが、環境との関係性の中で生きていることを認識し、世界の人々や将来世代のことを考え、持続可能な社会の実現に向けて適切な生活態度を促したり、これからの地域のあり方を考えたりする教育・保育を言います。



プロジェクトの概要・応募資格・申込みなど詳しくは、
ウェブサイト
<https://www.eeel.go.jp/>

お問合せ先

東北地方ESD チャレンジプロジェクト事務局
〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-30-20 音羽ビル
(公財) 日本生態系協会内
TEL 03-5951-0244 FAX 03-5951-2974
Eメール tohoku_esd@ecosys.or.jp

第14回あきた エコ&リサイクル フェスティバル

日程 9月6日(土)、7日(日) 10:00~16:00

会場 秋田駅前アゴラ広場
買い物広場「ビッグルーフ」

●体験コーナー

「エコフェスの森林!!」
「楽しくて涼しい!! 水の生き物たちとのふれあい体験」

●ステージアトラクション

「ご当地キャラ大集合!!」
「超神 ネーガーショー!!!」

ジュニア・サマースクール IN 遊学舎

宿題できた? 遊学舎に行ってみよう! 楽しんでがんばろう!

日程 平成26年8月24日(日)
朝9時40分から12時まで!

会場 遊学舎研修室ほか

- ・石でペーパーウエイトをつくろう!
- ・廃ろうそくで、花や昆虫のキャンドルづくり
- ・夏休み思い出新聞づくり
- ・実感! 太陽のめぐみ
- 「手作りソーラークーラー」
- ・貝殻で作るいろんなかお
- ・押し花で食卓を飾ろう!

申込み・問い合わせ詳しくは

NPO法人
あきたパートナーシップ
(遊学舎内)
TEL : 018-829-5801
FAX : 018-829-5803

発行

秋田県生活環境部環境管理課

〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号
TEL 018-860-1571 FAX 018-860-3881
E-mail kankan@pref.akita.lg.jp

編集

NPO法人 環境あきた県民フォーラム

秋田県地球温暖化防止活動推進センター (ACCCA)

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎(秋田県ゆとり生活創造センター) 内
TEL・FAX 018-839-8309 E-mail mail@eco-akita.org
ホームページ www.eco-akita.org/onsen

